

組付要領書 及び部 品 表

Takakita

ブレンドキャスト用
エプロンカバーアタッチ

BSS-EN

適応機種 B S - 6 3 1 S S



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は　じ　め　に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**ブレンドキャスト用エプロンカバーアタッチ**の組付要領について記載してあります。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。また、ご使用前にはブレンドキャスト本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いています。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

エプロンカバーアタッチの組付け

B S S - E N

このたびは、ブレンドキャスト用アタッチメントをお買い上げいただき、ありがとうございました。組付け前には、必ずこの組付要領書をお読みの上、正しく組付けください。

●ご不明なことや、お気づきのことがございましたらお買い上げの販売店（農協）または当社までご相談ください。

●開梱されましたら組付前に、本文後ろの部品表の部品が全て含まれているかご確認の上、組付を行なってください。

◆ 組付け手順

〈B S - 6 3 1 S S〉（図1 参照）

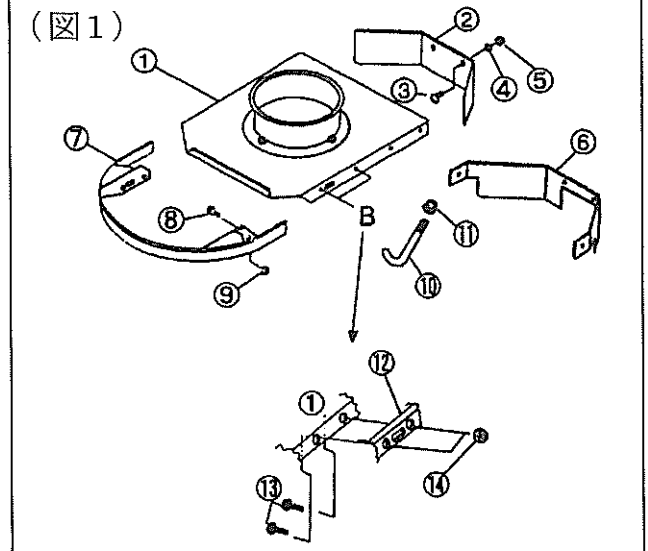
〔1〕 スピンナーカバーの組付け

- （1）①シャッターフレームに固定してある②スピンナーカバーを③トラスコネジ④バネザガネ、⑤ナットを緩めて取り外します。
- （2）アタッチに付属の⑥スピンナーカバーと組み替え、先ほどのトラスコネジ、バネザガネ、ナットで確実に締め付けてください。

〔2〕 エプロンフレームの組付け

- （1）⑦スピンナーガードを固定している⑧ボルト、⑨スプリングナット、また、①シャッターフレームを固定している⑩フック、⑪ナイロンナットを緩めて、⑦スピンナーガードを取り外します。
- （2）①シャッターフレームのB位置の穴に⑫エプロンフレームの穴を合わせます。その穴に①シャッターフレームの内側から⑬ボルト（アタッチ付属）を通し⑭スプリングナットで左右各2ヶ所を締め付けます。また、①シャッターフレームを固定していた⑩フック、⑪ナイロンナットも元の位置に取り付け、締め付けます。

（図1）

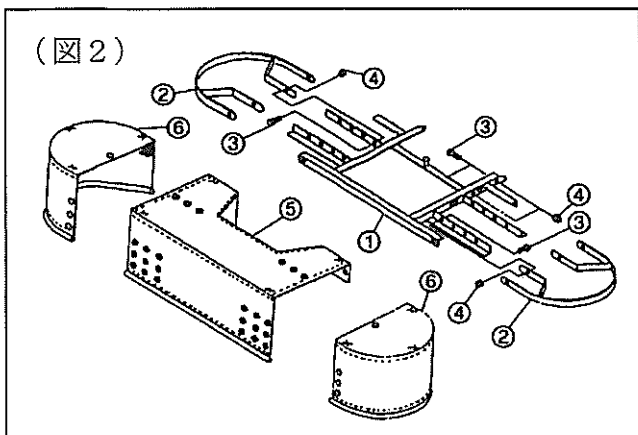


〈共通〉（図2 参照）

〔2〕 エプロンアタッチの組付け

- （1）①エプロンフレームに②サイドフレーム右（左）を組付けます。この時、ボルトの固定穴の位置を変えることにより、散布幅を1.2mから1.5mまで調整することができます。
- （2）①エプロンフレームには、左右各4ヶ所のボルト穴があり、左右の②サイドフレーム右（左）を最も内側に合わせた時1.2m、二つ目が1.3m、三つ目が1.4m、最も外側に合わせた時、最大1.5mの散布幅となります。
- （3）③ボルトを②サイドフレームの内側から通し、④スプリングナットで①エプロンフレームの外側から確実に締め付けてください。
- （4）⑤エプロンカバー中央を①エプロンフレームに⑥エプロンカバー左右を②サイドフレームへの順で、それぞれフレームにヒモで固定した後、固定ボタンでエプロンカバーがバタつかないように固定してください。

(図 2)



注意

- 使用前に各部の組付けに誤りがないか、確認してください。
- ボルト、ナットなどが確実に締め付けられているか必ず確認してください。
- 本アタッチを取り外す場合は、標準仕様のスピナーガード及びスピナーカバーを必ず元の位置に組付けてください。

以上で組付作業が終了します。